

保育所の待機児童をなくして!

2017年度西宮市予算への
「要望懇談会」を開催しました



市議団主催の「予算要望懇談会」

共産党市議団は23日、来年度の西宮市予算に市民の皆さんのが願いを反映させるため懇談会を開催。地域や団体の参加者から、切実な声をお聞きしました。市議団は懇談会でのご意見等を8月中に討議し「要望書」にまとめ、8月30日、市長に提出します。

高齢者のバス交通施策の拡充を

さらに、芦屋市や尼崎市では70歳以上の高齢者に、バス運賃が半額となる「敬老バス」制度があるが、西宮では000円)だけ。これすら減

みの開所時間が8時からとなつたが、指導員の勤務延長で支障が出ている。②保育所待機児童問題では、既存施設への「詰め込み」ではなく、認可保育所を増設して保育の質も守つて欲しい。③地域の歩道改修などを丁寧になどがありました。

日本共産党

上田さち子



2016.7.31号

(発行)

日本共産党市会議員

上田さち子

川添町五・十八

電・三五一一二八一三



夏・本番ですね!

わが家の前の公園では、25日から「ラジオ体操」がはじまり、夏休みに入った子どもたちが参加。

事故のないように、楽しい思い出をいっぱいくってほしいものですね。

額しようとしている。怒りの声も。「交通不便地域の解消と合わせて取り組んで欲しい」と切実な声がありました。

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。
ぜひ、訪問して下さい。お待ちしています。

憲法が暮らしそのみに生きかされる政治を

先ごろの政治選で、憲法

改正を狙う勢力が国会で3分の2以上を占めた。改正

の狙いは「9条2項の廃止」(戦争放棄の国で、軍隊は持たないとの規定)にあることは明白。一方で、自・公政を選択した有権者の半数以上が「憲法改正の必要は

ない」といつている。

あらためて憲法の持つ力があ

私たちの暮らしに必要か、考
えなくてはと思いました。

「憲法守れ!」なんて
言わなくてよい社会に

7月に亡くなった永六輔さんは「そもそも憲法を守る義務を負っているのは、総理大臣など時の権力者」だとし、

「国民は憲法なんて気

にしなくて

も、きちんと

と平和と生

活が保障されるべきなんだ

と語り、「国民が『憲法守れ』と、憲法を守らない権力者を糾弾しなければならない政治



・国民の生存権・基本的人権

「憲法の心」

年金が下がり続ける高齢者、高い学費で莫大な借金を背負う青年、女性が働き続け
ることができない貧しい保

育行政、子どもや孫が戦争で殺されるのではないかと不安が募る……。それらは「憲法の心」を踏みにじる政治が原

因ではないでしょうか。

金沢駅前で、「原発NO!」と交流



今年も建設常任委員会でがんばります

6月議会で議会の所属委員会が決まり、私は引き続き建設常任委員会でがんばります。土木局・都市局・上下水道局を所管します。また、委員会の施策研究テーマは「高齢化社会の交通施策」「大規模開発」に決まりました。

